



武蔵野吉祥七福神めぐり開運コース

担当 高山、柏野

武蔵野吉祥七福神めぐりは、二社、四寺をめぐる。開催期間は元旦から 10 日まで、参拝時間は午前 9 時 30 分から午後 4 時 30 分までとなっています。

武蔵野商工会議所が数年に渡り、市内の寺社と粘り強く交渉した結果、地元のバス会社などの協賛も得て平成 19 年から実現した「武蔵野吉祥七福神めぐり」の「開運コース」で、距離 約 9 km 約 3 時間の行程です。

日 時：平成 30 年 1 月 14 日（日） 雨天の場合：1 月 21 日（日）

集 合：JR 南浦和駅 5 番ホーム前方（府中本町寄り） 8:50

往 路：南浦和 09:03 ~ 09:32 西国分寺 JR 武蔵野線

西国分寺 09:36 ~ 09:50 武蔵境 JR 中央線快速

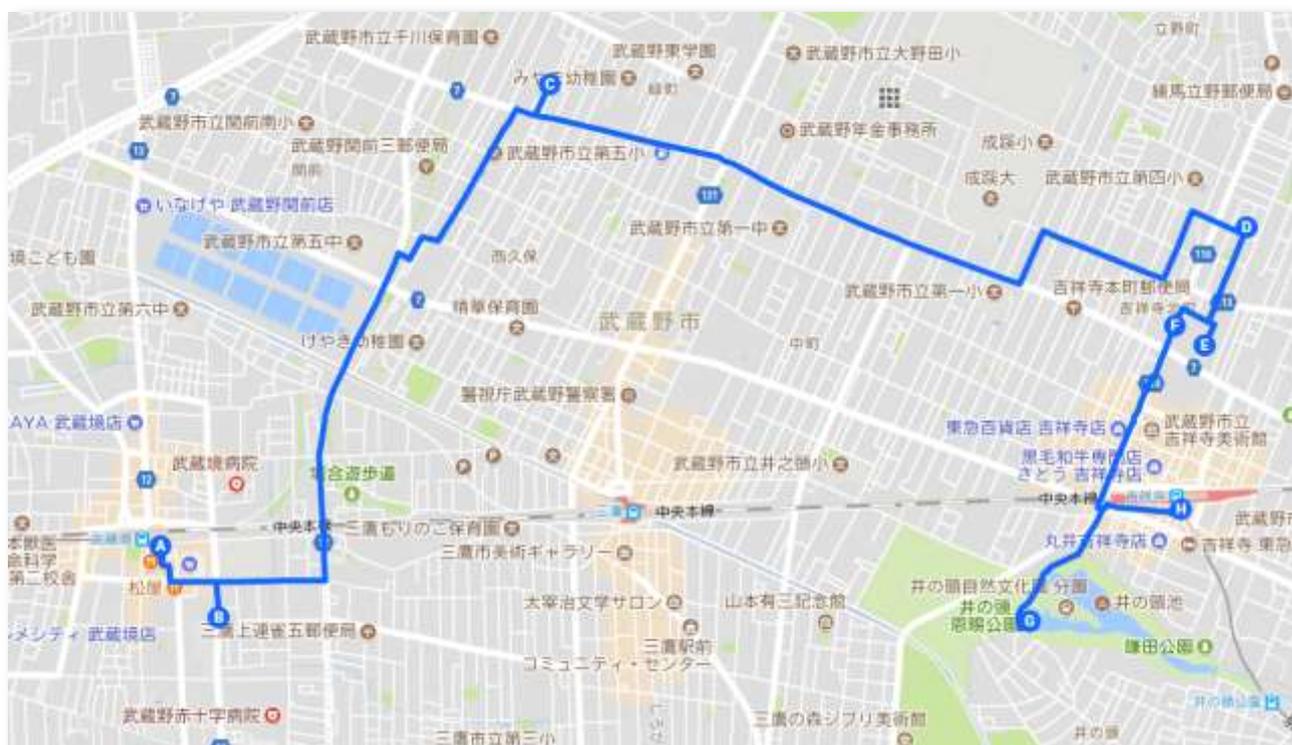
復 路：吉祥寺駅 ~ 南浦和（解散）

行 程：武蔵境駅南口 **A** 400m 7 分 → 杵築大社 **B** 2. 5Km 50 分 → 延命寺 **C** 2. 8km 52 分
大法禅寺（大法寺） **D** 610m 11 分 → 安養寺 **E** 310m 5 分 → 武蔵野八幡宮 **F** 1. 5Km 25 分
井の頭弁財天（大盛寺） **G** 880m 15 分 → 吉祥寺駅南口 **H**

交通費：南浦和 ~ 武蔵境 吉祥寺 ~ 南浦和 合計 1,100 円

持ち物：飲み水 敷物 雨具 黄色の袋（長寿応援手帳） 常備薬 他

昼食はハイキング終了後、現地調達と考えています。



🔊 第11回 武蔵野吉祥七福神めぐり 音声ガイド

🔊音声ガイド: 音声ガイド（青文字）は、Ctrl キーを押しながらクリックして再生します。

<p>杵築大社 (きづきたいしゃ)</p> <p>恵比寿神</p> <p>🔊音声ガイド</p>			<p>江戸時代初め、松江藩主松平直政により建てられ、祭神は大國主命と事代主命の二神。開運厄除・縁結びの神としても信仰を集めている。本殿前にある千本イチョウは樹勢が豊かで迫力があります。境内には高さ10メートルの富士塚があり、病気平癒の祈願信仰が厚い。</p>
<p>延命寺</p> <p>毘沙門天、 寿老人</p> <p>🔊音声ガイド</p>			<p>寛文10年(1670年)関前村の開村同時に開山された密教寺院。本尊文殊菩薩、弘法大師、中興の祖興経大師、恵心作と伝える秘仏薬師如来などを祀る。境内には江戸中期の多くの石仏や、中島飛行機武蔵製作所大空襲の戦災殉難者慰霊碑、平和観音菩薩像がある。</p>
<p>大法禅寺 (大法寺)</p> <p>福祿寿</p> <p>🔊音声ガイド</p>			<p>山号を「金谷山」といい、徳川家光摂政下の寛永10年(1634)に出雲国松江城下の名利円城寺第二世仁叟義貞禅師を開山とする禅寺。開創当初は江戸麻布桜田町(現六本木)にあり、昭和7年に現地へ移転した。静かな境内には吉祥観音像、お徳地藏様の像が立っている。</p>
<p>安養寺</p> <p>布袋尊</p> <p>🔊音声ガイド</p>			<p>開山は寛永元年(1624)、開基は北条氏48将の一人である布施弾正左衛門康貞。吉祥寺四軒寺のひとつで、「多摩新四国八十八ヶ所」第一番札所。門前には寛文5年(1665)の庚申供養塔や六地藏がある。梵鐘は江戸時代の作で、大晦日には除夜の鐘を撞く人手賑わう。</p>
<p>武蔵野八幡宮</p> <p>大國様</p> <p>🔊音声ガイド</p>			<p>789年、坂上田村麻呂が奥州征伐の際武運長久を祈り、当地に宇佐八幡大神の御分霊を祀ったのが始まりと伝えられ、武蔵野の農民の氏神様として信仰を集めてきた。文化10年記銘年号のある石の鳥居や狛犬などが貴重な遺構。大國様は本殿に向かって右手の末社に祀られている。毎年9月15日の例大祭が盛大。</p>
<p>井の頭弁財天 (大盛寺)</p> <p>弁財天</p> <p>🔊音声ガイド</p>			<p>井の頭公園の中の島に鎮座し、神田上水源の水神として江戸の人々に広く信仰された。音楽、芸能の守護神。徳川家光により建立された社殿は焼失し、昭和2年に再建された。この弁財天は8本の手を持った八臂像。秘仏で12年に一度(巳年)のご開帳がある。</p>